

令和3年度 英語科 授業充実（改善推進）プラン

昨年度のプランの検証

取り組みにおける成果と課題

英語科における調査結果の分析

内容別結果の分析	【1学年】 1 「書くこと」に関して、目標値を下回っているものが多く、課題がある。 2 リスニングに関しては、おおむね目標値を上回っている。 3 「英文の完成」に関して、正答率が低い。 【2学年】 1 「場面に応じて書く英作文」以外は目標値を上回る。 2 「3文以上の英作文」では正答率が高いが、「場面に応じて書く英作文」の正答率は低い。 3 他の項目に比べ、「語形・語法の知識・理解」の正答率は突出しない。 【3学年】 1 全体的に目標値を下回っている。 2 英文の読み取りは、目標値を上回っている。 3 語形語法の知識理解で目標値を下回っている。
観点別結果の分析	【1学年】 1 「書くこと」に関して、目標値を下回っているものが多い。 2 「聞くこと」に関しては、目標値を上回っているものが多い。 3 「思考・判断・表現」の英文の完成の正答率が低い 【2学年】 1 4観点いずれも目標値は上回るが、区平均は下回る。 2 「書くこと」に関して、場面に則した疑問文を作文する問題の正答率が低い。 3 「読むこと」に関しても、内容に関する質問に英語で答える問題の正答率が低い。 【3学年】 1 聞くことに関しては、目標値を上回っている問題と下回っている問題が、混在している。 2 読むことに関しては、英文の読み取りと語彙理解でかなり差が見られた。 3 書くことに関しては、ほとんど目標値を下回っている。

授業改善のポイント（調査結果等を踏まえて）

1 導入を工夫することで英語学習への興味・関心を高める。「書く力」を養う。 2 4技能をバランスよく向上させるために、常学習でそれぞれの技能を伸ばす指導をする。 3 多様な音読を取り入れることで発話や読解の力を高める。また語彙力の向上、正しい語形や語法の理解を図る。

【1 学年】

- 1 欠けている「書く力」を養うような授業実践を行う。
- 2 音読を徹底して実施し、音声による理解と表現力を向上させる。
- 3 辞書引き指導を定期的に行う事で、自立学習の姿勢を養い、語彙力向上にもつなげる。
- 4 ICT を効果的に導入することで、各技能をバランスよく学習させる。

【2 学年】

- 1 ドリル練習を繰り返すことで、単語や基本的な語法の基礎を固める。
- 2 辞書引き指導を継続し、語彙力向上、英作文・表現の能力向上につなげる。
- 3 音読活動を継続することで、正しい文型や表現を定着させ、英作文の能力向上につなげる。
- 4 場面描写や質疑応答のスピーキング練習を増やすことで、英作文の能力向上につなげる。

【3 学年】

- 1 ワークシートを使って文法の重要事項を重点的に確認する。
- 2 多様なパターンの英文音読を導入することで、読解力を高めるようにする。
- 3 過去問題等で長文問題、英作文、文法問題にじっくり取り組み、その成果をテストで確かめる。